

	<p>《反対討論 日本共産党津市議団》消費税増税によって、市民の暮らしはより一層厳しい状況におかれる。そんな時こそ地方自治体には、市民の暮らしに寄り添う温かい市政、優しい市政が求められている。しかし、残念ながらこの予算にはそうした点が見受けられない。2回の入札不調を受けて産業・スポーツセンター建設予算を5割増しの122億円に増額していることは市民の理解が得られない。また、小中一貫教育では、全国学力テストの全ての教科で全国平均を上回るという数値目標を掲げている。このことは、ストレスを生み、学校生活の楽しさを奪うものである。他にも、個人情報保護の点から極めて重大な問題を含んでいるマイナンバー制度の導入、ポルタひさいの購入による総合支所移転、住民合意が十分に得られていない最終処分場等の関連予算が計上されている点、地域インフラ整備予算が少なすぎる点、人権に名を借りた同和事業等が依然として進められている点などから反対する。</p> <p>《反対討論 八丈正年議員》ポルタひさいにおける庁舎整備費が予算に計上されているが、ポルタひさいを購入したために毎年4,500万円の共益費が必要となることから無駄遣いがありにも多い。また、ポルタひさいの庁舎整備費の4億9,809万6,000円は、地域住民福祉のために津市があるはずだが、これについても地域住民福祉になっていない。このような予算が計上されていることは大きな無駄遣いといえることから反対する。</p>		
議案第36号	平成26年度津市モーターボート競走事業特別会計予算	勝舟投票券払戻金、船舶等振興機関等への交付金等、 402億1,859万4,000円	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治
	《反対討論 日本共産党津市議団》公営キャンブルは反対という立場であり、さらには収益の一部が特定の一族に流れる仕組みになっていることから反対する。		
議案第37号	平成26年度津市国民健康保険事業特別会計予算	事業勘定 303億9,354万2,000円 、直営診療施設勘定 3,249万9,000円	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治
	《反対討論 日本共産党津市議団》高過ぎる国保料が市民の暮らしを苦しめている。所得100万円の40代夫婦と子ども2人の家族の場合、年間16万6,630円、同所得65歳以上の年金生活夫婦の場合13万7,130円にも保険料は上っている。もっと、市民の暮らしに寄り添い、保険料を引き下げるべきである。払いたくても払えない保険料により、保険証の取り上げ、資格証の発行が行われている。この予算では、もっと市民の暮らしに寄り添えなくなる国保の広域化に向けて、共同事業を20,000円以上から実施しようとする予算になっている。国民健康保険制度は、憲法第25条に基づく社会保障制度だという立場での運営を求め、この予算には反対する。		
議案第38号	平成26年度津市介護保険事業特別会計予算	賦課徴収事務及び介護認定に係る経費、居宅介護サービス等の保険給付費等、 253億69万4,000円	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治
	《反対討論 日本共産党津市議団》2000年にスタートした介護保険制度は「保険あって介護なし」と当初から言われてきた。これまで一貫して保険料・利用料の引き下げ、津市としての独自の軽減制度の創設を求めてきたが、残念ながら実施されていない。「年金は減る一方なのに、高い保険料だけが取られていく」、これが多くの高齢者の皆さんの実感である。今年は次期の介護保険事業計画策定の年度にあたる。保険料、利用料の軽減制度の創設を改めて求めるとともに、制度の根幹を崩す国が進めようとしている要支援外しに対しても、市民の立場に立って対応することを求めておく。		
議案第39号	平成26年度津市後期高齢者医療事業特別会計予算	徴収事務等の経費、後期高齢者医療広域連合納付金等、 57億4,362万2,000円	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治
	《反対討論 日本共産党津市議団》本医療制度は、75歳という年齢で全ての医療保険制度から排除し、差別するものである。そのため、医療費の増加が保険料に跳ね返り、保険料を見直すたびに値上げとなっている。今年も平均3,000円以上の値上げとなり、こうした差別医療制度の早期廃止を求める立場から反対する。		
議案第40号	平成26年度津市簡易水道事業特別会計予算	施設の維持管理経費、簡易水道整備費等、 6億4,275万3,000円	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治
	《反対討論 日本共産党津市議団》本議案には、消費税増税分が転嫁されている。試算においても2億2,000万円余りの市民負担が生じるとされており、市民の負担増となるものであることから反対する。		
議案第41号	平成26年度津市農業集落排水事業特別会計予算	施設の維持管理経費、市債の元利償還金等、 5億6,669万9,000円	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治
	《反対討論 日本共産党津市議団》議案第40号と同じ理由で反対する。		
議案第43号	平成26年度津市下水道事業特別会計予算	流域下水道建設、維持管理負担金等一般管理事業関係経費、各施設の維持管理経費、公共下水道建設費等、 110億481万2,000円	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治
	《反対討論 日本共産党津市議団》議案第40号と同じ理由で反対する。また、住宅団地集中浄化槽の市への移管や公共下水道区域から外れた地域での市町村設置型による合併浄化槽設置事業が始まることから、その際は地域の皆さんと十分協議し、理解の上、進めるよう求めておく。		
議案第44号	平成26年度津市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	貸付事業運営費、市債の元利償還金等、 6,513万5,000円	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治
	《反対討論 日本共産党津市議団》議案第31号と同じ理由で反対する。		
議案第46号	平成26年度津市水道事業会計予算	受水費、減価償却費、委託料、工事請負費、企業債償還金等、 121億5,907万7,000円 (支出)	中川民英、長谷川幸子 藤本智子、豊田光治
	《反対討論 日本共産党津市議団》議案第40号と同じ理由で反対する。また、従来から指摘しているが、県営水道からの導水が水道会計を圧迫している。長良川からの導水事業は、合併前の市町村がそれぞれ契約していた水量を引き継いでおり、必要以上の水量を契約している。最大給水量を見ても、長良川からの導水事業は必要ない数値となっており、会計圧迫という点からも見直すべきである。さらに、老朽化した水道管の更新、耐震化の促進が急務である。そのためにも技術者の確保を強く求めておく。		